

世界に通用する行動力で
他国へのあこがれを現実に。

CHECK MORE!

詳しい情報やインタビュー動画は
公式サイト上の学科ページをチェック!



学びのポイント

国際社会では英語ができることに加えて、さらに何ができるかということが問われます。本学科では「英語プラスワン」を合言葉に、英語以外の言語(ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語)もしっかりと学習できます。2年次の後期から1年間の海外留学(中期・短期もあります)を推奨しており、外国語の実践力を短期間で集中して身につけるカリキュラムを用意しています。また、言語のしくみや言語の背景にある社会・歴史・文化などについてさまざまな角度から学ぶことで、他国の文化を知り、別の観点から自国の文化への理解を深めることができます。

POINT 1

異文化を理解し、体験する

海外留学などを通じて、語学力のみならず行動力や国際的感覚を身につけることができます。

POINT 2

国際社会を理解する

異文化を理解するための方法論や、国際的な視点から自国や他国の文化について学びます。

POINT 3

外国語によるコミュニケーション能力の向上

充実した語学教育により、国際社会で通用するレベルの外国語の実践力を身につけます。

PICK UP 専門科目

English Lecture A

On this course, using short lectures and group discussions, we explore how people learn second languages. Students can also develop their academic listening and note-taking skills.



Public Speaking

In order to become more confident public speakers in English, students write many original speeches and practice delivering these, giving and receiving feedback on their performances.



STUDENT'S VOICE

世界を広げてくれる「異文化」との出会いが 学びの原動力になっています

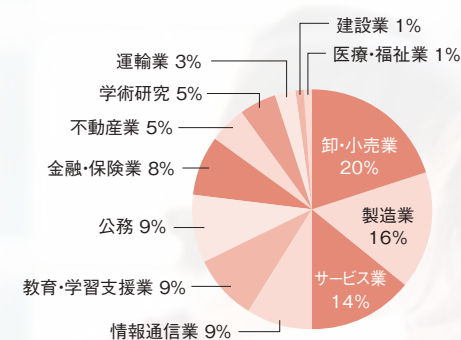
国際コミュニケーション学科では、語学力を高めるだけでなく、国際社会や多文化共生などを学び、異文化への総合的な理解を深めてきました。交換留学生と地域の農業を体験する「近江楽土」の活動にも積極的に参加。地域性を考慮しながら、地球規模の視点で考え・行動する「グローバル」の視点を養いました。異文化理解を通じて、自らの世界を広げることが、学ぶ喜びにつながっています。



人間文化学部 国際コミュニケーション学科 4年生
久木 絢加さん
(京都府私立京都女子高等学校 出身)

進路状況抜粋 (2019～2021年度)

学部卒業生の業種別就職状況



就職先

Sky(株)、(株)りそな銀行、日本新薬(株)、ニチコン(株)、リコージャパン(株)、(株)イオン銀行、(株)モンベル、イオンリテール(株)、(株)フォーカスシステムズ、岡本(株)、(株)パンダイナムコフィルムワークス、(株)SCREENホールディングス、大東建託パートナーズ(株)、TBカワシマ(株)、兵神装備(株)、自分未来きょういく(株)、ブラウデストレジデンス(株)、(株)タイムレス、アイオ(株)、(有)ベーシック、タキイ種苗(株)、(株)ロングラン、レクストホールディングス(株)、村田機械(株)、(株)緑水亭、(株)福井村田製作所、テンフィールドファクトリー(株)、古河AS(株)、(学)関西大学、(株)トーヨーコーポレーション、明治安田生命保険(相)、楽天(株)、(株)IDOM、(株)京進、エムケイ(株)、グランバレイ(株)、(株)日立建機ティエラ、(株)クスリのアオキ、(株)バルグループホールディングス、大和冷機工業(株)、(株)エス・ティー・ワールド、(株)大松、(株)大興製作所、岐阜信用金庫、近畿労働金庫、(株)百五銀行、東急リゾーツ&ステイ(株)、(株)ゲンキー、(株)システム・コミュニケート、日本航空(株)、名港海運(株)、大正製薬(株)、任天堂(株)、(株)Plan・Do・See、(株)双葉社、宇治市、滋賀県、防衛省、岐阜県教育委員会、大阪府教育委員会、彦根市、滋賀県警察本部、長浜市、愛荘町

進学先

滋賀県立大学大学院、兵庫教育大学大学院、岐阜大学大学院、大阪大学大学院

取得可能な資格一覧※

- 教員免許(中学校教諭一種(英語)/高等学校教諭一種(英語))
- 社会福祉主事任用資格

※すべての資格は、大学が定める所定の科目を履修し、単位を修得する必要があります。